

## 安全データシート

改訂日: 2022年8月30日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	ステアリン酸亜鉛
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CC0161
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
健康に対する有害性	急性毒性(経皮): 区分5 (UN)
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚に接触すると有害のおそれ
注意書き	【安全対策】 【応急処置】 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 【保管】 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 【廃棄】 内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。 気中で粒子が細かく拡散して爆発性の混合気体を生じる。
GHS分類区分に該当しない他の危険有害性	
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	ステアリン酸亜鉛
別名	-
化学式	approx. Zn(C <sub>17</sub> H <sub>35</sub> COO) <sub>2</sub>
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 557-05-1
成分及び含有量	ステアリン酸亜鉛(亜鉛含有量が10~11%)
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(2)-615
その他	HSコード: 2915.70
4. 応急措置	
吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	吸入した場合 発熱、咳、呼吸困難、チアノーゼ、化学性肺炎 飲み込んだ場合 腹部不快感、下痢
5. 火災時の措置	
適切な消火剤	粉末消火剤、水噴霧、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	加熱・燃焼時、刺激的な煙や有毒な酸化亜鉛のヒュームを生じる。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 保護具を着用し、風上から消火に当たる。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 関係者以外の立入りを禁止する。
環境に対する注意事項	密閉された場所は換気する。 環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	環境への放出を避けること。 危険でなければ漏れを止める。 回収、中和: 少量の乾燥した漏れの場合、漏洩物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に入れ、ゆるく覆いをして漏洩場所から移す。

大量の場合、水で湿らせ、防護囲いをし、後で廃棄処理する。  
 二次災害の防止策：すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。  
 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

火気注意

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

粉塵の堆積、拡散を防ぐ。密閉系、粉塵防爆型電気および照明設備。

接触、吸入又は飲み込まないこと。

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

技術的対策：保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

『10. 安定性及び反応性』を参照。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避

衛生対策

### 保管

安全な保管条件

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。

酸化剤から離して保管する。

冷所、換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

施錠して保管すること。

技術的対策：

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

ポチエチレン

容器包装材料

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 許容濃度

管理濃度

未設定

日本産業衛生学会

未設定

ACGIH

TLV-TWA 10mg/m<sup>3</sup>（ステアリン酸塩として）

### 設備対策

この物質を貯蔵しないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。

### 保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

目の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具

適切な顔面用の保護具を着用すること。

適切な保護衣及び長靴を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理状態

粉末

色

白色

臭い

臭いはないか僅かに特異臭がある。

融点/凝固点

115～125℃（規格値）

沸点又は初留点及び沸点範囲

該当情報なし。

燃焼性

該当情報なし。

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

下限20g/m<sup>3</sup> 上限情報なし。

引火点

277℃（開放式）

自然発火温度

420℃

分解温度

該当情報なし。

pH

中性（湿式リトマス紙）

動粘性率（粘度）

該当情報なし。

溶解度

水、アルコール、エーテルに不溶、ベンジンに溶解する。

n-オクタノール/水分配係数

logP=14.44（推定値）

蒸気圧

該当情報なし。

密度及び/又は相対密度

該当情報なし。

相対ガス密度

該当情報なし。

蒸発速度

該当情報なし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

通常の取扱いにて安定。

危険有害反応可能性

強酸や強アルカリで加水分解される。

強酸化剤と反応する。

避けるべき条件

加熱、混触危険物質との接触

混触危険物質

強酸、強アルカリ、強酸化剤

危険有害な分解生成物

酸化亜鉛

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口 :	ラットのLD50値として、> 5,000 mg/kg との報告 (EU-RAR (2009)) に基づき、区分外とした。
	経皮 :	ウサギのLD50値として、> 2,000 mg/kg との報告 (EU-RAR (2009)) に基づき、区分5 (JIS区分外) とした。新たな情報源 (EU-RAR (2009)) を追加して、区分を見直した。
	吸入 : (粉塵 ミスト)	ラットのLC50値 (1時間) として、> 200,000 mg/m <sup>3</sup> (4時間換算値: > 50 mg/L) との報告 (EU-RAR (2009)、ACGIH (7th, 2001)) に基づき、区分外とした。なお、LC50値が飽和蒸気圧濃度 (9.2 × 10 <sup>-14</sup> mg/L) より高いため、ミストの基準値を適用した。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		ウサギを用いた皮膚刺激性試験2件において、刺激性はみられなかったとの報告 (EU-RAR (2009)、IUCLID (2000)) や、ラットを用いた試験 (4時間適用) において、刺激性がみられなかったとの報告がある (EU-RAR (2009))。ヒトにおいては、パッチテストにおいて刺激性はみられなかったとの報告がある (EU-RAR (2009))。ヒトと動物で刺激性はないとの報告があることから、区分外とした。旧分類にある情報は具体的なデータではないため削除し区分を見直した。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		本物質の原液をウサギに適用した結果、刺激性はみられなかったとの報告が2件ある (EU-RAR (2009)、IUCLID (2000)) ことから区分外とした。情報源を追加し、旧分類にある情報は具体的なデータではないため削除し区分を見直した。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器:	データ不足のため分類できない。
	皮膚 :	データ不足のため分類できない。なお、ボランティア202人に対して本物質を10%含む物質を適用した結果、感作性がみられなかったとの記載 (EU-RAR (2009)) や、ヒトに皮膚感作性がないとの記載 (IUCLID (2000)) がある。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		ACGIHでA4に分類されている (ACGIH (7th, 2001)) ため、分類できないとした。
生殖毒性		データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)		データ不足のため分類できない。なお、旧分類の「ヒトで気道刺激性の可能性が記載されている (ACGIH (7th, 2001)、EU-RAR (2004))」については、確認の結果、ACGIH (7th, 2001) で、Stearates (ステアリン酸塩) 全体として、ヒトで気道刺激性の可能性が記載されているが、本物質についてはEU-RAR (2009) で、「腐食性、刺激性がない」と記載されており、旧分類の知見は不採用とした。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)		本物質反復ばく露による有害性に関する知見は、ヒト、実験動物のいずれもない。したがって、データ不足のため分類できない。 なお、亜鉛を硫酸亜鉛又はグルコン酸亜鉛として摂取したヒトで、頭痛、吐き気、胃の不快感などの消化器症状及び銅欠乏を示す臨床検査異常 (血清セルロプラズミン及び赤血球のSOD活性の減少) を生じたが、貧血など赤血球の機能に影響を及ぼすことはなかったとの記述がある (EU-RAR (2009))。
誤えん有害性		データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	短期: (急性)	データ不足のため分類できない。
	長期: (慢性)	データ不足のため分類できない。
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
---	-----------------------

## 14. 輸送上の注意

国連番号	—
品名 (国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法 (PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (第57条及び施行令18条、第57条の2及び施行令18条の2) [ステアリン酸亜鉛] 危険性又は有害性を調査すべき物 [ステアリン酸亜鉛]
消防法	危険物に該当しない。
水質汚濁防止法	指定物質 (施行令第3条の3) [亜鉛及びその化合物]
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質 (中央環境審議会の第九次答申) [亜鉛及びその化合物]

16. その他の情報  
参考文献

職場のあんぜんサイト(厚労省HP)  
NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)  
ICSC(国際化学物質安全性カード)  
16615の化学商品(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。